本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

支社	〒	所在地	電話番号
大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3丁目2番95号	☎大　阪 06(586)3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎　堺　0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39－6	☎高　槻0726(71)0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河　内0729(62)1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1丁目8番2号	☎神　戸078(360)3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1番地	☎京　都075(311)7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈　良0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目5	☎和歌山0734(31)2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫　路0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊　岡0796(23)2221
滋賀支社	〒525	草津市追分町荒堀680の1	☎草　津0775(62)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12番11号	☎彦　根0749(22)3131
(長浜営業センター)	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長　浜0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4丁目1番2号	☎大　阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

「おねがい：
ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、窓を全開にして（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。」

SAL8147

〈セントラル給湯機能付き〉

ガス風呂給湯器

31-345/346/347/348型

〈BL認定品〉型式名 GT-165W-I
NR-GT-165W
GT-165W-I
NR-GT-165W
GT-165W-T
NR-GT-165W-T
GT-165W-TB
NR-GT-165W-TB

(31-345型)

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

SAL8147

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂給湯器をお求めいただき、ありがとうございました。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

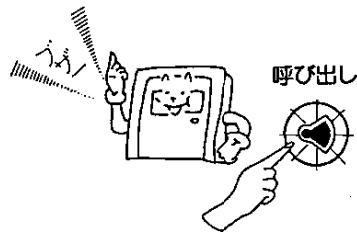
特長・機能の紹介

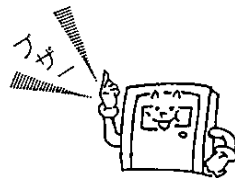
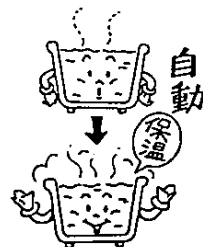
1 お風呂の温度や時間がひと目でわかるデジタル表示にバックライトがつき、より見やすくなりました。

2 気分にあわせて「あったかめ」のお風呂が楽しめます。

…「あったかめ」…24ページをごらんください。

3 呼び出しブザーで浴室から台所への呼び出しができます。

…25ページをごらんください。

4 お風呂への給湯せんからのお湯張り量をブザーでお知らせします。
（必ずお湯張りの給湯せん（蛇口）を閉じてください。）

…20ページをごらんください。

5 ふろ保温スイッチで（沸き上がりから4時間以内なら）お湯が冷めれば 自動で保温、 いつも快適なお風呂に入れます。

…22ページをごらんください。

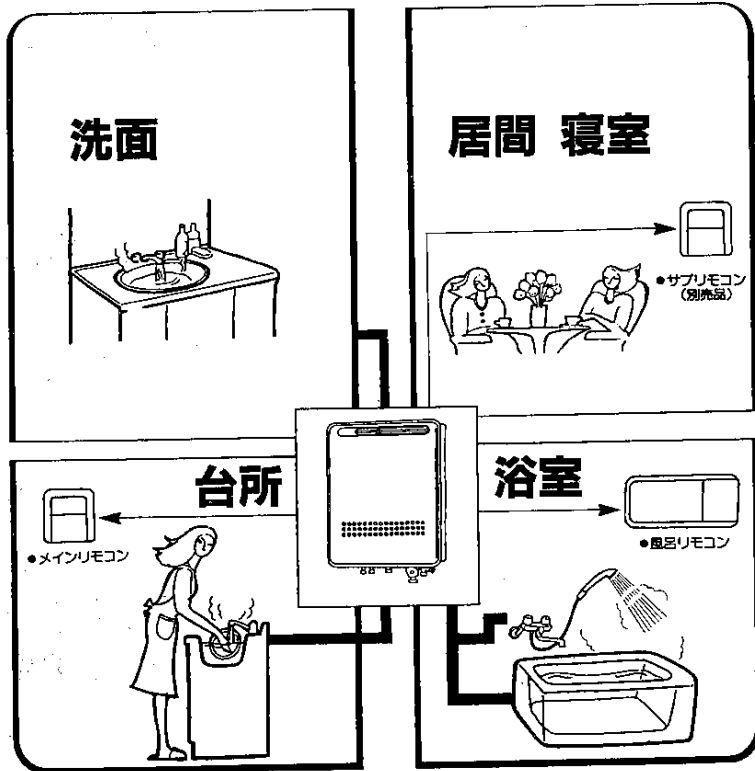
★給湯のしかた／

①運転スイッチ「入」
②給湯湯温の設定
③給湯せん(蛇口)を開ける

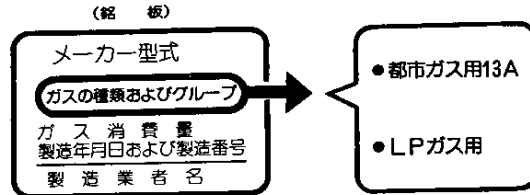
★お風呂の沸かしかた（２通りあります）／

①浴槽の排水栓の確認
②運転スイッチ「入」
③お知らせブザー湯量・給湯、湯温・ふろ湯温の設定
④お風呂の給湯せん(蛇口)を開ける
⑤お知らせブザー
⑥お風呂の給湯せん(蛇口)を閉める
⑦保温スイッチ「入」
⑧4時間保温

①水(残水・残湯)の確認
②運転スイッチ「入」
③保温スイッチ「入」
④沸き上がり自動停止
⑤4時間保温

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
器具本体の正面にはってある銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

●ガスの種類には都市ガスとＬＰガスとがあります。

●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用電源についてのご注意

●電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はＡＣ100Ｖ、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●用途についてのご注意

●給湯・シャワー及び風呂のお湯はり・追いだき以外の用途には使用しないでください。
●太陽熱温水器と接続された場合は、給湯器への給水温度が高くなりますので、以下の事項にご注意ください。
①夏期、給湯器への入水温度が高くなった時等、点火しない場合(リモコンの燃焼表示も表示しない)があります。
②給湯器の設定温度より太陽熱温水器からの入水温度が高い場合等は、湯温の調節ができません。

●器具設置についてのご注意

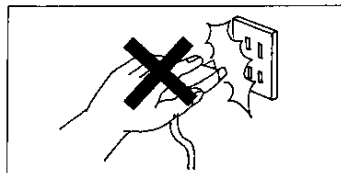
●器具の設置・工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

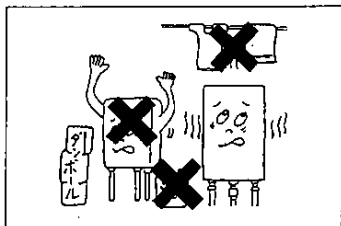
●使用上のご注意

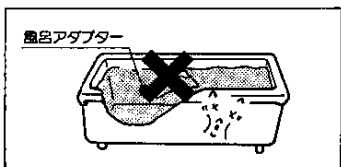
ガス漏れ予防

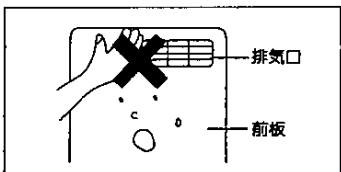
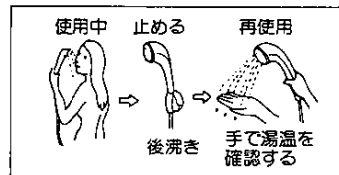
- 使用後は運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのにおいや、不快なにおいがしないかときどき確かめてください。

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。
  〔絶対に使用しないでください〕
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど、しないでください。

火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗たく物、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないでください。
- 排気口の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
  不完全燃焼や異常過熱の原因になります。

空だき防止

- 浴槽の排水せんが確実に閉まっていることを確かめてください。
- 浴槽の風呂アダプターをタオル等でふさぎますと循環不良となり、器具の故障の原因となる場合があります。

やけど等のご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、器具本体と排気口とその周辺は熱くなりますので、手をふれたりしないでください。特に、小さなお子様がいる家庭はご注意ください。

- シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。
- お風呂にご入浴の際はあらかじめ手で湯温を確認してご入浴願います。

凍結についてのご注意

- 冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがあります。
  凍結のおそれのある期間は26ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

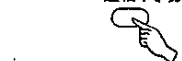
凍結したとき

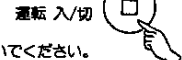
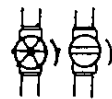
①凍結したままでは絶対に使用しないでください。
②再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、17ページ「使用方法」の項以下の操作を行なってください。
③器具や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。（保証期間内でも有料です。）

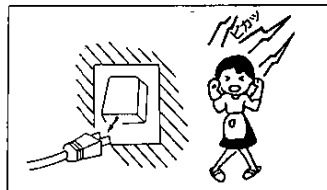
異常時の処置

- 異常燃焼、臭気、異常音などを感じたときや、地震、火災のときは、あわてず次の処置をし、お買い求めの販売店またはお近くの大阪ガス支社に連絡してください。

(1)給湯せんをしめる。

(2)運転スイッチを「切」にする。
（又は電源プラグをコンセントから抜く）

(3)給水元せん、ガス元せんをしめる。

（注）絶対に使用しないでください。

雷雨時のご注意

- 近くで雷の音が聞えてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
  （電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカで切ってください。）
- 雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
  （14ページを参照願います。）

日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。（詳しくは29ページをごらんください。）
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
  このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

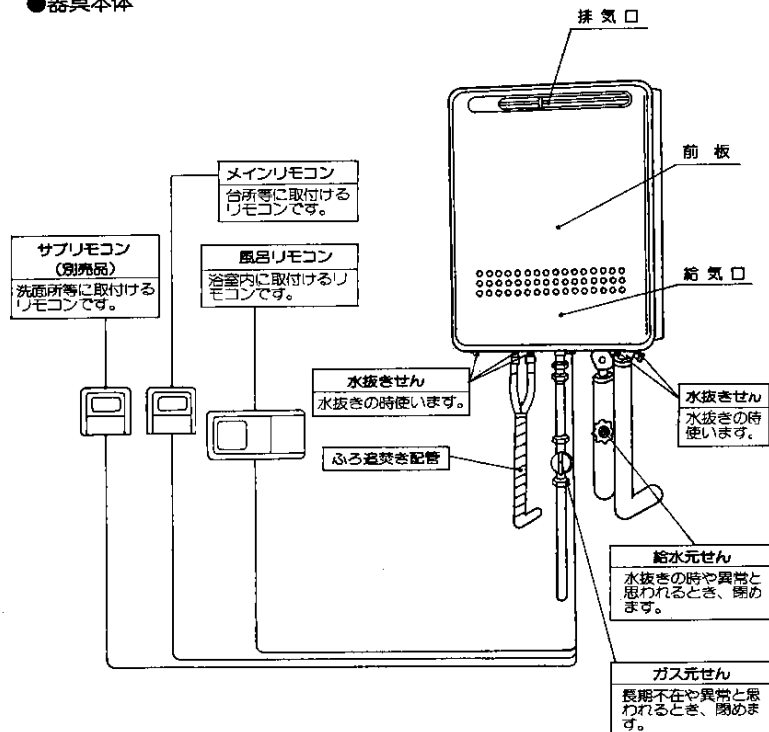
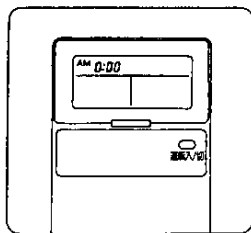
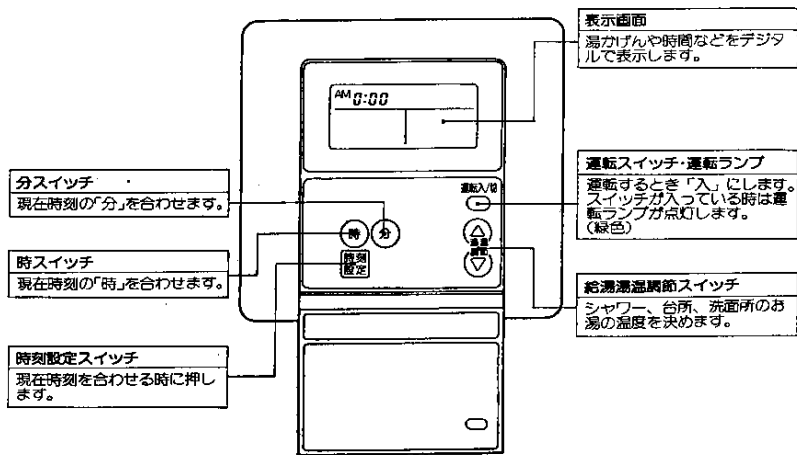
入浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄、酸、アルカリや粉末を含んだ入浴剤及び洗剤は熱交換器が腐食したり駆動部を摩耗させる原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

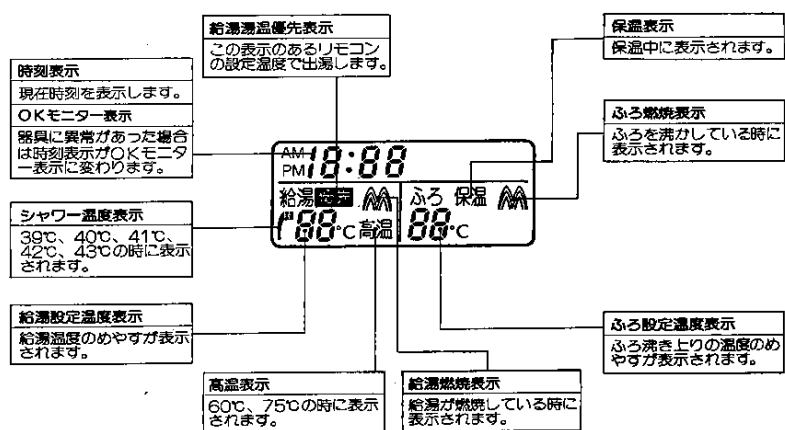
飲用にお使いのとき

- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

各部の名まえと扱いかた

●器具本体

●メインリモコン〈台所などに取り付けるリモコン〉

ふたを閉じた状態

●メインリモコン

《画面表示》

(注) 上記画面表示は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転のときは該当部分が表示されます。
OKモニター表示に切替った場合はP32を参照願います。

●風呂リモコン〈お風呂に取り付ける風呂リモコン〉

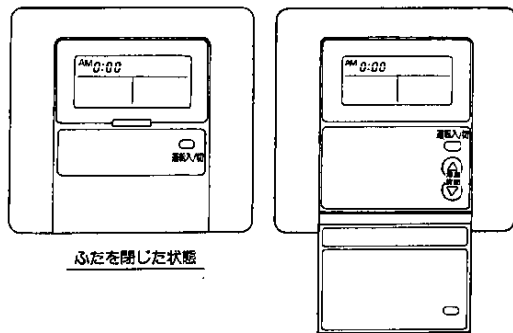
各部の名まえと扱いかた

●風呂リモコン

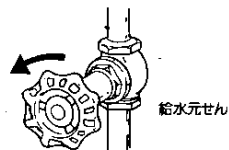
《画面表示》

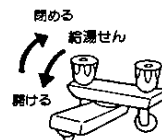
(注) 上記画面表示は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転のときは該当部分が表示されます。
OKモニター表示に切替った場合は、P32を参照願います。

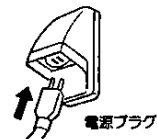
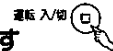
●別売リモコン

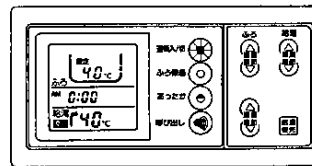
サニタリールームや寝室などに取り付けるサブリモコン　36-328型

ふたを閉じた状態

※画面表示はメインリモコンと同じです。
メインリモコンと同じスイッチは機能も同じです。

初めてお使いいただくときは…

1 給水元せんを全開にします

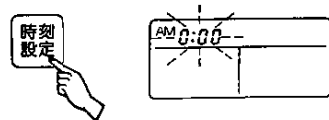
2 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めます

3 ガス元せんを全開にします

4 電源プラグをコンセントに差し込みます

5 「運転」スイッチを押し「入」状態にします

- 運転ランプが点灯します。
- 表示画面は図のように表示します。

電源投入時には、給湯・風呂の設定温度は40℃になります。

6 時刻を設定します

★メインリモコンのふたを開けて操作します。

① 時刻設定スイッチを押します

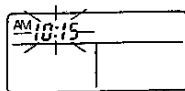
●スイッチを押すと、画面の時刻表示が点滅します。

② 時　分スイッチで、現在時刻を合わせます

●時分スイッチを押しながら、現在時刻を画面に表示します。
押し続けますと、連続的に数字が変わります。

★AM（午前）とPM（午後）を間違えないように！

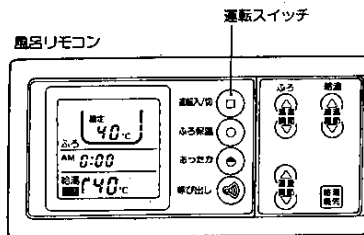
③ 時刻設定スイッチを再度押します
（点滅が止まります）

●時分表示は、あわせてから約30秒後、自動的に点滅が止まります。

④ 時刻合わせができました

★30分間以上の停電後は、0:00の表示に戻ります。
★短時間（約30分以内）の停電後は停電した時刻の表示が点滅します。
★停電復帰後は再度時計を合わせてください。

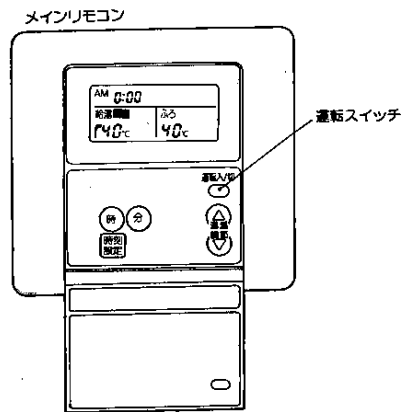
●操作確認音の消しかた・鳴らしかた

●操作確認音について

リモコンはスイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」と音がします。

消しかた

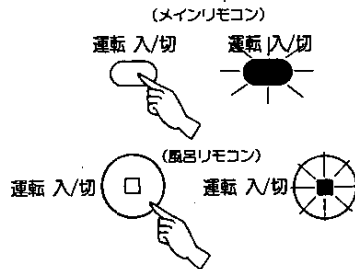
リモコンの「運転スイッチ」を5秒以上連続して押し続けることによりリモコン操作時の操作確認音を消すことができます。

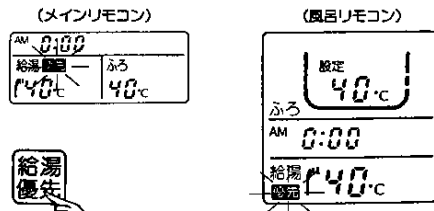
鳴らしかた

リモコンの「運転スイッチ」を再度5秒以上連続して押し続けることによりリモコン操作時の操作確認音を鳴らすことができます。

★同じ操作で、別売のサブリモコンも操作確認音を消したり鳴らしたりできます。
★操作確認音の有無の切替はメイン・風呂・サブリモコン別々に操作してください。

使用方法・給湯・シャワー

1 運転ランプが点灯していることを確かめます

● 運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押して「運転」状態にします。

2 給湯湯温優先スイッチを押して 温度を調節します

● 電源投入時は「40℃」になります。

★風呂リモコンでシャワーの温度を変える場合は、給湯湯温優先表示の点灯を確かめてください。給湯湯温優先表示が点灯していない場合は、ふたを開け給湯湯温優先スイッチを押し、給湯湯温優先表示の点灯を確かめてから、湯温設定してください。

●給湯湯温優先について

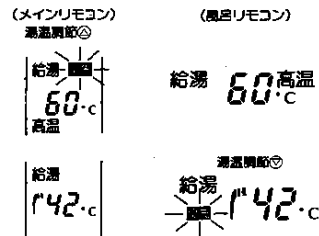
★メインリモコンと風呂リモコンで温度設定が異なっていると、どちらのリモコンで運転スイッチを入れるかによって出てくるお湯の温度が変わります。

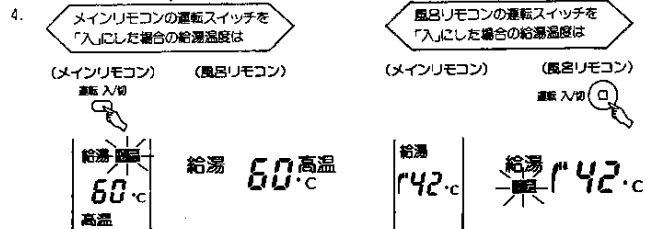
たとえば

1. メインリモコンで60℃に設定するとリモコンの画面は右のようになり、約60℃のお湯が出てきます。

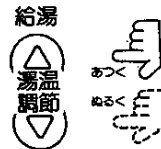
優先スイッチを押すと

⇩

2. 次に、風呂リモコンで42℃に設定すると、画面は右のように変わり、約42℃のお湯が出てきます。

3. この状態で運転スイッチを「切」にして、次にご使用になる時

4. メインリモコンの運転スイッチを「入」にした場合の給湯温度は / 風呂リモコンの運転スイッチを「入」にした場合の給湯温度は

ご注意! ●この場合、シャワーを浴びると危険です。
●75℃に設定されていた場合は、強制的に60℃に切り替わります。

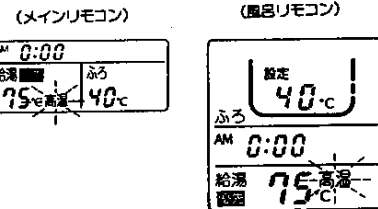
●運転スイッチ「切」でもその温度を記憶しています。

●温度の調節は38~46℃まで一度押すと1℃ずつそれ以上は50℃、60℃、75℃の表示がでます。温度表示は目安です。

★シャワーの温度はこのスイッチで決まります。リモコンの表示画面の「給湯」側に、設定した温度が表示されます。シャワー適温範囲時、39℃~43℃にはᒥマークが出ます。

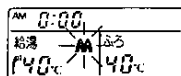
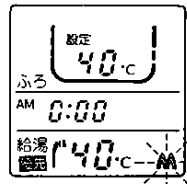
ご注意!

60℃、75℃の時は 高温 という文字が点滅して注意を促します。
(シャワー使用中湯温を変えるとやけど等非常に危険です。)

(メインリモコン)

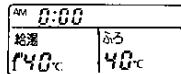
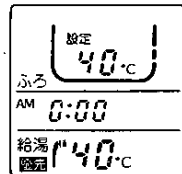
AM 0:00
給湯 75℃ 高温 ふろ 40℃

3 給湯せんを開けます

●画面の給湯部に（ ⩕ ）が表示され、②で設定された温度のお湯が出ます。

（メインリモコン）

（風呂リモコン）

●使い始めは給湯配管内の水が流れ出すまでしばらくお湯が出ません。
●お湯を複数個所で多量に同時に使用されますとぬるくなったり湯量が少なくなることがあります。
●ご使用後すぐに、再度お使いになるときは湯温が不安定になることがあります。シャワーで使用される時は手で湯温を確かめてからご使用ください。

4 給湯せんを閉めます

●バーナが消火し、画面の給湯部の（ ⩕ ）が消えます。

（メインリモコン）

（風呂リモコン）

※運転スイッチ「切」でも元の温度を記憶しています。
※30分間以上の停電後または電源プラグを抜き差ししたあとは、設定温度は「40℃」に戻ります。

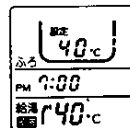
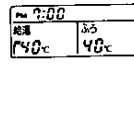
★お風呂への落し込み量を設定する時は、風呂リモコンでおこないます。

★浴槽の排水栓を閉じてください。

※給湯・シャワー使用中は湯量調節をしないでください。使用中に調節しますと表示はかわりますが湯量はかわりませんので注意してください。

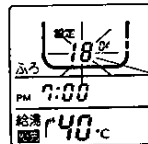
1 運転ランプが点灯していることを確かめます

風呂リモコン　　メインリモコン

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押して「運転」状態にします。

※通常は風呂の設定温度（上図の場合は40℃）が表示されています。

2 お風呂の湯量（お知らせブザーの鳴る湯量）を調節します

※ブザーはメインリモコンで鳴ります。

★お湯張り前には必ず設定湯量の確認してお湯張りを開始してください。

※湯量調節を押すと最初180ℓが表示されます。
（約3秒間表示します。その後、設定温度に戻ります。）

18⁰ℓ → 20⁰ℓ → 22⁰ℓ

●風呂リモコンのふたを開けて湯量調節スイッチでお知らせブザーの鳴る湯量を決めます。
●メインリモコンのブザーがなると蛇口を閉めます。

※湯量設定は40～260ℓまでは20ℓきざみでその他は300ℓ・350ℓ・400ℓ・990ℓで変化します。
（99⁰ℓの表示の場合はブザーが鳴りません）

※設定した湯量を確認したい場合は湯量調節スイッチを押すと3秒間表示され、確認ができます。

3 お湯張り((落しこみ) 用の給湯せん(蛇口)を開けます

4 ブザーが鳴ると給湯せん(蛇口)を閉めます

※ブザーはメインリモコンで鳴ります。

ご注意 /

★お湯張り中に台所等で使用しますと、お風呂の湯量(お知らせブザーの鳴る湯量)が台所等で使用した分だけ少なくなります。

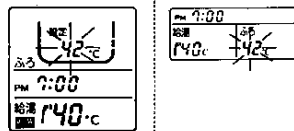
※運転スイッチ「切」でも元の温度と設定湯量を記憶しています。
※30分間以上の停電後または電源プラグを抜き差ししたあとは、設定湯量は「180ℓ」に戻ります。

浴槽に水が(湯が)入っているか確認してください。
浴槽にフタをしてください。

1 運転ランプが点灯していることを確かめます

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押して「運転」状態にします。

2 お風呂の沸き上がり温度を調節します

●右図が表示されます。はじめは、40℃に設定されてあります。

お好みの温度には個人差があります。
この表はだいたいの目安です。

●風呂リモコンのふたを開けて、図のように「ふろ」と書いてあるほうの湯温調節スイッチでお好みの沸き上がり温度を決めます。

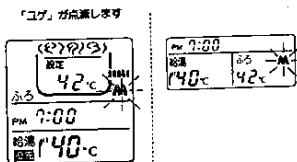
●設定温度は38℃～48℃の1℃きざみで一度押すと、1℃ずつ変化します。押し続けると連続で表示が変わります。(温度表示は目安です)

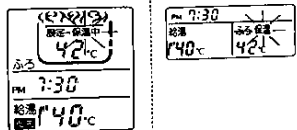
●リモコンの表示画面の「ふろ」側に、設定した温度が表示されます。

★お風呂の沸き上がり温度を決めてから、続いて「給湯(シャワー・台所・洗面所)」などのお湯の温度を決めるときは、16ページの温度の設定の項をごらんください。

3 保温スイッチを押します

「ユゲ」が点滅します

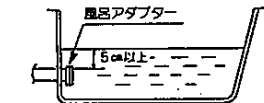
- 保温スイッチのランプが点灯します。
- お風呂沸かしがはじまりました。
- お風呂沸かしの途中は、右図の表示がされます。

4 お風呂が沸くと自動でストップします

- 表示された温度にお風呂が沸き上がると、自動的にストップし、保温準備になります。
- 沸き上がったら、右図の表示がされます。保温スイッチのランプは保温中（4時間）は消えません。4時間終了後、保温スイッチのランプは消えます。

5 お湯の温度が下がったら、自動であたためます

- お湯の温度が下がったら、30分毎に自動的に暖める、保温機能がついています。保温スイッチを入れてから4時間はたらきます。

※運転スイッチ「切」でも元の温度と設定湯量を記憶しています。
※30分間以上の停電後または電源プラグを抜き差ししたあとは設定湯量は「180ℓ」に戻ります。

「あったか」機能

風呂リモコンのふたを開けて、お湯かげんの設定をしなおさず、スイッチひとつで「ちょっとあつめ」のお風呂が楽しめます。
★浴槽に湯が（水が）入っているか確認してください。

浴槽の湯(水)が風呂アダプターより5cm以上、上にあるようにしてください。

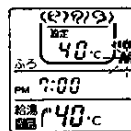
※「保温中」の表示で器具が燃焼運転中以外であれば「あったか」は使用できます。

1 運転ランプを確認します

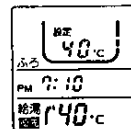
- 運転ランプが点灯していないときには、運転スイッチを押して、「運転」状態にします。

2 風呂リモコンの「あったか」スイッチを押します

「ユゲ」が点滅します

- あったかスイッチのランプが点灯して、お風呂の追いだきをはじめます。
- 右図の画面は、あったか機能がはたらいている状態です。

3 「あったかめ」のお風呂になったら、ランプは消えます

- スイッチを押すと、設定温度より約2℃お湯の温度が上がり、自動的にとまります。

★途中で消したい場合はもう一度あったかスイッチを押してください。ランプが消えます。

※燃焼終了後はかくはんのためポンプが約30秒間回ります。

※運転スイッチ「切」でも元の温度と設定湯量を記憶しています。
※30分間以上の停電後または、電源プラグを抜き差ししたあとは、温度設定は、「40℃」になります。

使用方法・呼び出しのしかた

1 風呂リモコンの

呼び出しスイッチを押します

- 呼び出しランプが点灯します。
- メインリモコンのブザーが３秒間鳴ります。
- ブザーが止まると呼び出しランプも消えます。

★呼び出し機能は運転スイッチの入、切に関係なく使用できます。
★サブリモコン（別売品）をお使いの場合、サブリモコンのブザーも３秒間鳴ります。

使用方法・凍結予防方法

冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

●凍結予防ヒーターによる方法

- この器具は、外気温がさがってくると自動的に凍結予防ヒーターが器具内を保温します。
- この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますので、ご注意ください。

※配管部分の凍結まで予防できませんので、必ず保温材を巻きつけているかご確認ください。

●ポンプ自動運転

- この器具には外気温がさがってくると自動的にポンプが運転し凍結を予防する装置を組み込んでいます。（浴槽の残り湯は捨てないでそのままにしておいてください。）
- この装置は運転スイッチの「入」「 切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますので、ご注意ください。

●通水による方法

- この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。

①運転スイッチを「切」にし、ガスの元せんをしめる。（電源プラグは抜かないでください。）

②給湯せんをあけ１分間に約200cc以上（牛乳ビン１本ぐらい）〔特に寒い日は多目に〕を流してください。

※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

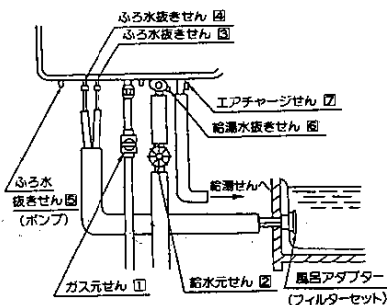
●器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。
※ふろ側から先に水抜きを行なってください。

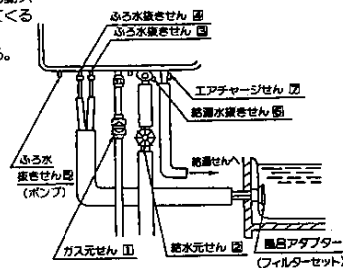
〔ふろ側〕
①浴そうの水を排水する。
②リモコンの運転スイッチを押し運転ランプ点灯後、あったかスイッチを押し、風呂アダプターのフィルターセットより水が出ることを確認、5分程そのままにする。（2階浴室など浴そうが器具より高い位置にある場合は、ふろ水抜きせん[3][4]を左にまわしてあけた後、あったかスイッチを押し、ふろ水抜きせん[4]より水がでてくることを確認する。
③上記の排水の完了を確認後、運転スイッチを押し、運転ランプの消灯を確認する。
④ガスの元せん[1]をしめる。
⑤ポンプ水抜きせん[5]をあける。
※ふろ側の水抜きを行なった後は浴そうに水を流し込まないでください。

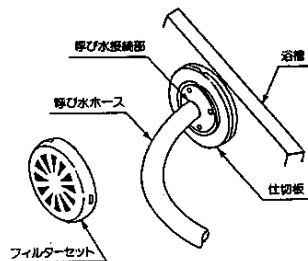
〔給湯側〕
①リモコンの運転スイッチを「入」にする。
②ガスの元せん[1]をしめてあるのを確認する。
③給水元せん[2]をしめる。
④すべての給湯せんを全開にする。
⑤給湯水抜きせん[6]、エアチャージせん[7]を左にまわしてあける。
⑥リモコンの自動スイッチを押し1分程度そのままにした後、自動スイッチを「切」にし、つづいてリモコンのぬるめスイッチを押し、1分程度そのままにする。その後運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
●以上の操作で器具内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

●再使用する場合

ご注意
●凍結したまま使用しないでください。
●凍結による修理は保証期間内でも有料です。

●再度使用されるときは、次の方法で行なってください。
※給湯側より先に行なってください。

〔給湯側〕
①給湯水抜きせん[6]、エアーチャージせん[7]およびすべての給湯せんをしめる。
②給水元せん[2]をあけ、すべての給湯せんから水がでるのを確認する。

〔ふろ側〕… ポンプの呼び水をします。
①ふろ水抜きせん[4]をあけ、ふろ水抜きせん[3][5]をしめる。
②ガスの元せん[1]をあけ、電源プラグをコンセントに差し込む。
③リモコンの運転スイッチを「入」にし、次にリモコンの自動スイッチを押ししばらくしてふろ水抜きせん[4]より水がでてくることを確認する。
④ふろ水抜きせん[4]をしめ、リモコンの自動スイッチを切る。
●以上の操作を行なってからご使用ください。

ポンプへの呼び水のしかたは次の方法でも可能です

①ふろ水抜きせん（1箇所）を右に回して閉めます。（閉まっているのを確認します。）
②浴槽内風呂アダプターのフィルターセットを左に回して外し、呼び水接続部にホースを当て十分に水を入れてください。
（仕切板の周囲から水が出てくれば充分です。）
※呼び水が終ったあとはフィルターセットを右に回して取り付けてください。

現場施工の状況により、「凍結予防ヒーターによる方法」や「水抜きによる方法」では、配管・バルブ類の凍結防止はできませんので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

点検・お手入れ

●点検・お手入れの際のご注意

- ●器具を安全に、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- ●点検・手入れの際には、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行なってください。
- ●器具及びリモコンはカバーを開けないでください。（故障の原因になりますので絶対に分解しないでください。）

●点　検

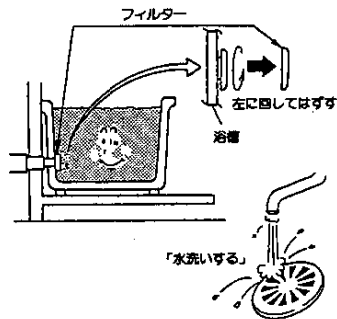
- ●器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいていませんか？
- ●排気口や給気口をふさいでいませんか？

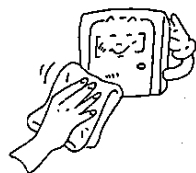
●お 手 入 れ

●外装の掃除

やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください。）

●風呂アダプターのフィルターの掃除

浴槽内のフィルターを外し、月に１回程度掃除してください。
※なおフィルターの掃除をしたあとは必ずもとのように取り付けてください。
元の状態に取付けされていない場合は故障の原因になります。

リモコンの掃除

●リモコンの表面が汚れた時は、十分水を絞った布で拭いてください。（かわいた布で拭いた場合、液晶部が乱れることがありますが故障ではありません。）放置しておきますともとの状態に戻ります。

●リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。

点検お手入れ後の確認

●点検・お手入れの後は運転スイッチを「入」にして給湯せんを開いて器具が正常に作動しているか確認してください。
万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

定期点検のおすすめ

●器具のご使用に支障がなくても、２～３年に１回ぐらいバーナや各部の作動が"正常"かどうか定期点検をするのが、安全で長期間使用いただくための "ひけつ" です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご相談ください。（有償）

故障かな?と思ったら

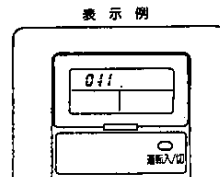
ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不具合が生じたときは下記の処置を行ない、それでも直らないときは、ただちに使用を中止してお買い求めの販売店または、大阪ガス支社へ連絡してください。

原因 ＼ 現象	（メインリモコン）優先表示が点灯しない	給湯栓を開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	給湯燃焼表示（AA）が点灯しない	ふろ燃焼表示（AA）が点灯しない	ふろが沸かない、または沸きがおそい	処置方法	お客さま	販売店または大阪ガス支社
電源プラグがはずれている	○	○					○	○		プラグをコンセントに差し込む	*	
ガス元栓の開き不十分		○	○	○		○	○	○	○	ガス元栓を全開にする	*	
給湯元栓の開き不十分		○	○		○	○	○			給湯元栓を全開にする	*	
配管内に空気が残っている		○	○				○	○		点火操作を繰り返す	*	
水フィルターの詰まり		○	○		○	○	○			詰まりを除去する		*
断水している		○					○			給湯使用をいったん中止する	*	
凍結している		○					○			解凍するまで使用を中止する	*	
給気口・バーナ炎口・熱交換器・ノズルの目づまり		○	○	○			○	○	○	点検を依頼する		*
安全装置が作動		○	○				○	○		点検を依頼する（度々作動する場合）		*
電気部品の故障	○	○	○	○	○	○	○	○	○	点検を依頼する		*
停　電	○	○	○				○	○	○	再通電するまで待つ	*	
風呂リモコンの優先スイッチの「入」「切」が適切でない	○			○	○					風呂リモコンの優先スイッチの「入」「切」を正しく戻し、湯温調節スイッチで好みの温度にする	*	

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

● OKモニターの表示をお調べください。

この器具は60分以上連続給湯又は90分以上連続追い焚きすると、燃焼が停止し、OKモニター「011」、「012」を表示します。
この時は、いったん運転スイッチを切り、数秒待った後、再び運転スイッチを「入」にします。

表示例

表示	原因	処置
011	給湯60分以上連続燃焼	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示がでなければ正常です。
012	ふろ90分以上連続燃焼	
111	給湯側炎（燃焼）検出系統の不具合	
112	ふろ側炎（燃焼）検出系統の不具合	
310	凍結予防サーミスタ系統の不具合	*
311	給湯入水温度サーミスタ系統の不具合	*
312	ふろ循環温度サーミスタ系統の不具合	*
321	給湯出湯温度サーミスタ系統の不具合	*
611	ファン回転検出系統の不具合（給湯）	*
612	ファン回転検出系統の不具合（ふろ）	*
632	ふろ呼び水の不足	呼び水をする　（28ページ参照）
700	リモコン系統の不具合	*
721	給湯側炎（燃焼）検出系統の不具合	*
722	ふろ側炎（燃焼）検出系統の不具合	*

（ご注意）

*印又は不明な場合はお買い求めの販売店または大阪ガス支社に表示をご連絡ください。

●次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
給湯せんを絞りすぎて水になった	この器具は流水量が2.5ℓ/min以下になったときには消火します。
低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯せんをもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い全く無害なものです。
排気部から白煙が出る	外気温が低い時には排気ガスの水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。
冬期など寒いときポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプの自動運転を行います。
出湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約40秒間は回転しています。
保温中ときどきポンプが回る	浴そうのお湯の温度を検知するため30分毎に回ります。
表示画面（液晶）が乱れている	リモコンをかわいた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。この場合放置（30分以上）しておくと正常にもどります。
表示画面が 0:00になっている	長時間の停電後、再通電すると表示画面の時計表示が 0:00 になります。なお温度表示も変わります（初期状態）ので、再度設定をしてください。
時刻表示が点滅している	短い停電があったとき、時刻は点滅しますので時刻を再度設定してください。

●安全装置の種類とその働き

●次の安全装置が作動した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんを閉めてお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

- ●立消え安全装置……バーナが正常に燃焼しない時、作動し、ガスを自動的にストップします。
- ●空だき安全装置……熱交換器が万一空だきした時に作動し燃焼を自動的にストップします。
- ●過熱防止装置………器具内部の雰囲気温が異常に高くなった時、作動し燃焼を自動的にストップします。
- ●漏電安全装置………万一漏電した場合、電源を「OFF」にする装置です。

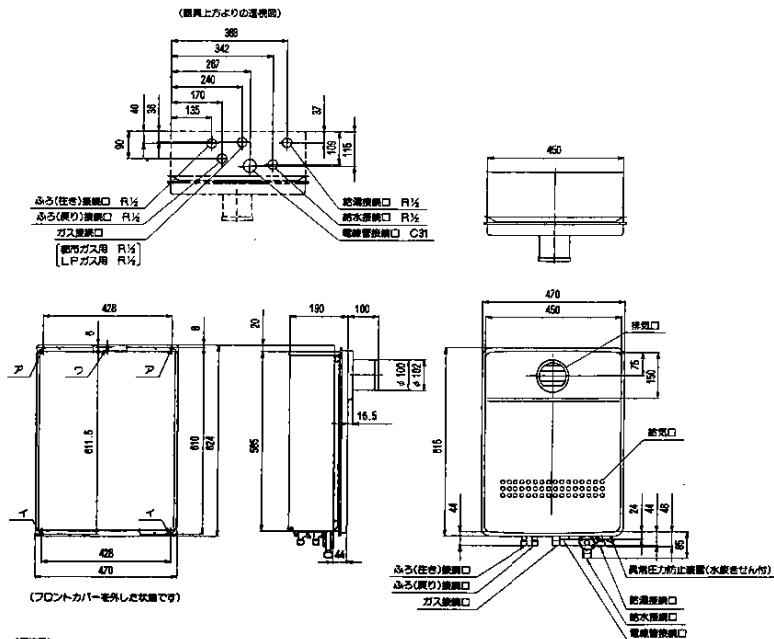
以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

仕様

商品の呼び		31-345型	31-346型	31-347型	31-348型
型式の呼び	都市ガス13A	GT-165W-1		GT-165W-T	GT-165W-TB
	LPガス	NR-GT-165W		NR-GT-165W-T	NR-GT-165W-TB
種類	設置方式	屋外設置型			
	給湯方式	先止め式			
点火方式		電子イグナイターによるダイレクト点火			
水圧	使用水圧	1.0〜10kg/㎠			
	作動水圧	0.1kg/㎠			
最低作動流量		2.5ℓ/分			
外形寸法		高さ615㎜×幅470㎜×奥行190㎜			
重量（本体）		30kg			
接続	給水	R½			
	給湯	R½			
	風呂	R½			
	ガス 都市ガス用	R½			
	ガス LPガス用	R½			
電気関係	電源	AC100V（50/60Hz）			
	消費電力	145/175W（凍結予防ヒータ 150W）			
安全装置		空だき安全装置、立消え安全装置、過圧防止安全装置、凍結予防装置（凍結予防ヒーター、水抜きせん）漏電安全装置、過熱防止装置			

使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量（最大消費量）(kcal/h)			出湯能力（能力大）（ℓ/分） 上昇温度	
	給湯風呂併用	給湯側	風呂側	25℃	40℃
都市ガス13A	42500	30500	12000	16.5	10.5
LPガス	3.55kg/h	2.55kg/h	1.0kg/h	16.5	10.5

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。
◎出湯能力は計算値です。
◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

寸法図

●器具本体

(単位：mm)

● 31-345型

● 31-346型

(単位：mm)

●31-347型

（単位：mm）

（フロントカバーを外した状態です）

（ご注意）
1 扉内設置用
扉内ケース取付用穴は "ア"、"イ" の4ヶ所を使用する。
2 標準用（排気延長タイプ）
パイプシャフト金枠取付用穴は "イ"、"ウ" の3ヶ所を使用する。

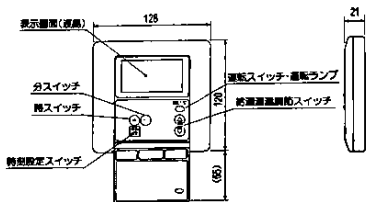
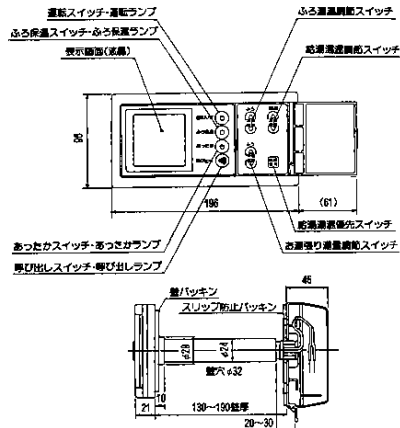
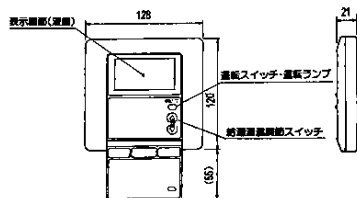
●31-348型

（単位：mm）

（フロントカバーを外した状態です）

（ご注意）
1 扉内設置用
扉内ケース取付用穴は "ア"、"イ" の4ヶ所を使用する。
2 標準用（排気延長タイプ）
パイプシャフト金枠取付用穴は "イ"、"ウ" の3ヶ所を使用する。

寸法図

●メインリモコン

●風呂リモコン

●サブリモコン36-328型(別売品)

保管とアフターサービス

●長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
  (1)ガスの元せんを閉じる。
  (2)給水元せんを閉じる。
  (3)器具の水抜きを行なう。〔水抜き方法は27ページを参照してください。〕
  (4)電源プラグを抜く。

●アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
  1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印等)
  2. 品名……31-345型・31-346型・31-347型・31-348型(右のようなラベルを器具の正面に貼付けてあります。)
  3. 現象……できるだけ詳しく
  4. 訪問ご希望日

(例)

(N)31-345(U)
大阪ガス株式会社 01

転居される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
  この場合調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
  ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

保証について

- このガス風呂給湯器には保証書がついています。
- 保証書には記載のように、ガス風呂給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。
  その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。